【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公表番号】特表2018-536728(P2018-536728A)
【公表日】平成30年12月13日(2018.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2018-048
【出願番号】特願2018-516797(P2018-516797)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/30　　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/20　　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＰＵ
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＱ
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＳ
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＹ
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＺ
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＦＧ
Ｂ３２Ｂ　27/30　　　　Ａ
Ｂ３２Ｂ　27/20　　　　Ｚ
Ａ６１Ｆ　13/00　　３０１Ｇ
Ａ６１Ｆ　13/00　　　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月25日(2019.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ｉ）引抜き可能な原子を含むポリマー基材と、
（ｉｉ）前記ポリマー基材上のヒドロゲルコーティングと、を含み、
前記ヒドロゲルコーティングが、少なくとも１０重量％の含水量を有し、前記ポリマー基材に共有結合され、
前記ヒドロゲルコーティングが、９．５未満のｐＨを有する水性組成物由来であり、
前記水性組成物が、
（ａ）（メタ）アクリレート又は（メタ）アクリルアミドのうちの少なくとも１つから選択される親水性モノマー、
（ｂ）少なくとも０．１重量％の水膨潤性粘土、
（ｃ）水溶性であり、Ｉ型光重合開始剤である、第１の開始剤、
（ｄ）水溶性であり、ＩＩ型光重合開始剤である、第２の開始剤、及び
（ｅ）酸
を含む、多層物品。
【請求項２】
前記ポリマー基材がプライマーを実質的に含まない、請求項１に記載の多層物品。
【請求項３】

前記第１の開始剤が、２－ヒドロキシ－４’－（２－ヒドロキシエトキシ）－２－メチルプロピオフェノンのうちの少なくとも１つから選択され、前記第２の開始剤が、４－（３－スルホプロピルオキシ）ベンゾフェノン、２－（３－スルホプロピルオキシ）チオキサンテン－９－オン、カルボキシベンゾフェノン、及びそれらの塩のうちの少なくとも１つを含む、請求項１又は２に記載の多層物品。

【請求項４】

前記水性組成物がアルコールを実質的に含まない、請求項１～３のいずれか一項に記載の多層物品。

【請求項５】

前記水性組成物が８未満のｐＨを有する、請求項１～４のいずれか一項に記載の多層物品。

【請求項６】

前記ヒドロゲルコーティングが少なくとも０．１ｍｍの厚さを有する、請求項１～５のいずれか一項に記載の多層物品。

【請求項７】

創傷包帯である、請求項１に記載の多層物品。

【請求項８】

（ｉ）９．５未満のｐＨを有する水性組成物を準備する工程であって、前記水性組成物が、

（ａ）（メタ）アクリレート又は（メタ）アクリルアミドのうちの少なくとも１つから選択される親水性モノマー、

（ｂ）少なくとも０．１重量％の水膨潤性粘土、

（ｃ）水溶性であり、Ｉ型光重合開始剤である、第１の開始剤、

（ｄ）水溶性であり、ＩＩ型光重合開始剤である、第２の開始剤、及び

（ｅ）酸、を含む、工程と、

（ｉｉ）前記水性組成物を、引抜き可能な原子を含むポリマー基材に接触させる工程と、

（ｉｉｉ）前記水性組成物を硬化させる工程と、

を含む、ヒドロゲルコーティングされた物品の製造方法

【請求項９】

硬化がＵＶ線による、請求項８に記載の方法。